

(別紙1)

エックス線診療室放射線量率測定報告書

名称		管理者		
住所		TEL		
測定年月日	平成 年 月 日 (時)	室名		
エックス線装置	製作社名	製造年月		
	型式名称	製造番号		
	定格出力 (連続) KV mA (短時間) KV mA			
	用途			
放射線測定器	製作社名	製造年月		
	種類	名称		
	校正年月	年 月	校正定数	
	被写体 (ファントム)	名称:	寸法:	
		製作社名:	使用管電圧範囲:	
測定実施者及び測定立会者	測定機関名		住所	
	管理責任者			TEL
	測定者	職名	氏名	
	測定立合者	職名	氏名	
測定に関する総合所見				

注意事項

- 1 エックス線装置の型式名称の欄は、高電圧発生装置の型式及び名称を記入すること。
- 2 定格出力の欄は、診療エックス線装置備付届の事項と同じ内容を記入すること。
- 3 測定者の欄は、診療放射線(エックス線)技師、作業環境測定士及び放射線取扱主任者、エックス線作業主任者等の放射線に関する知識を有する者。(測定機関にあって、測定者自身が資格を有しない場合は、資格のある管理責任者を常勤させることが望ましい。)
- 4 測定立合者の欄は、医師、歯科医師又は放射線技師等放射線に関する知識を有する者が望ましい。
- 5 測定に関する総合所見の欄は、測定結果から得た所見を記入すること。

(別紙2)

エックス線診療室放射線量率測定結果

撮影用途													
撮影条件		Kv		mA		s		Kv		mA		s	
曝射回数		連続		回		連続		回		連続		回	
レンジ		$\mu\text{Sv/h}$		μSv		$\mu\text{Sv/h}$		μSv		$\mu\text{Sv/h}$		μSv	
測定値		実測値	平均値	3月間の 実効線 稼働負 荷等	実効線 量率 mSv/ 3月間	実測値	平均値	3月間の 実効線 稼働負 荷等	実効線 量率 mSv/ 3月間	実測値	平均値	3月間の 実効線 稼働負 荷等	実効線 量率 mSv/ 3月間
測定点	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												
	7												
	8												
	A												
	B												
C													
測定点高さ		床上		m		バックグラウンド値				$\mu\text{Sv/h}$			

注意事項

- 1 撮影用途の欄は、透視(水平位、立位)、ブッキー撮影、胸部撮影等で同じ部屋での撮影形態を記入すること。
- 2 撮影条件の欄は、通常の使用条件で測定すること。
- 3 実測値の欄は、線量率計で測定した場合はその数値を記入し、積算計で測定した場合は曝射回数の和の指示値を記入する。平均値は実測値を曝射回数で除した値を記入する。

(実測値がバックグラウンドレベルであるときは、線量率計で測定した場合は「BG値」、積算計で測定した場合は「感知せず」と記入すること。)

- 4 A、B、C点の測定は、透視撮影等室内で業務に従事する場合に最も被ばくが多いと思われる場所を測定すること。

添付書類

各測定点を記入した1/50又は1/100の図面(管球の位置、ファントームの位置、管球及びファントームから外壁までの距離を記入のこと)